



2010年1月15日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学大学院理工学研究科と Lund 大学（スウェーデン）が ダブルディグリープログラムを 2010 年 4 月から開始

慶應義塾大学大学院理工学研究科と Lund 大学工学部（スウェーデン）は、2009 年 11 月にダブルディグリープログラムに関する協定を締結しました。これにより、所定の要件を修めた学生が、両大学から修士の学位を取得できるダブルディグリープログラムを、2010 年度から開始します。計 3 年間で、本大学大学院理工学研究科から修士（理学または工学）、Lund 大学から工学修士相当の学位がそれぞれ授与されるプログラムです。

Lund 大学はスウェーデン国内で 2 番目に歴史のある名門校であり、数々のノーベル賞受賞者を輩出した実績をもちます。慶應義塾大学とは 2005 年 10 月に包括的交流協定を締結しています。

1. 背景

本大学大学院理工学研究科では、すでにフランスのエコールセントラルグループ（5 校）とのダブルディグリープログラムを実施しています。この 5 年間にわたる実績を土台として、今回、スウェーデンの Lund 大学工学部と新たなダブルディグリープログラムを実施することになりました。学生は日本以外でも通用する学位を取得することにより、海外を視野に入れた将来の可能性が広がります。理工学研究科では、ダブルディグリープログラムの充実により、研究教育環境の国際化をこれまで以上に推進し、国際感覚とともに広い視野と理工学分野の高い専門性を併せ持つ、世界的規模で活躍できるグローバル人材の育成を目指します。

2. ダブルディグリープログラム概要

(1) 開始時期：

2010 年 4 月

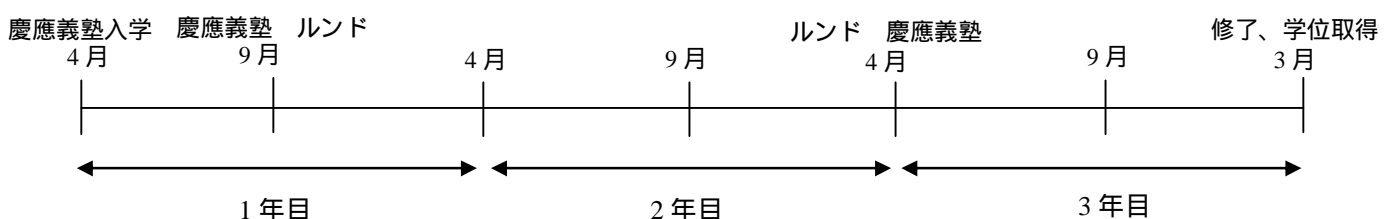
(2) 対象者：

2010 年 4 月に本大学大学院理工学研究科修士課程に入学を予定する者から、2 名を選考。募集要項等の詳細は理工学部学生課国際担当 Web サイトに掲載されています。

<http://www.st.keio.ac.jp/contents/ic/news/20091113LundDDProgram.html>

(3) プログラム概要：

慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程入学後、最初の半年間を本大学、その後 1 年半を Lund 大学、最後に 1 年間再び本大学に在籍する合計 3 年間の修士課程プログラムです。



修士課程を修了すると、慶應義塾大学から修士（理学または工学）が授与されると同時に、ルンド大学からも工学修士相当のエンジニア資格“Civilingenjörutbildning” (Master of Science in Engineering Programme) が授与されます。ルンド大学では英語で開設されているコースを受講します。

なお、ルンド大学の学生には、自校で1年間の学習を終えた後で慶應義塾大学大学院理工学研究科の先端科学技術国際コースに入学し、さらに2年間の修士課程を修めることで、双方から学位を取得するプログラムが提供されます。

3. ルンド大学について

ルンド大学は、コペンハーゲン空港から電車で約40分の場所に位置する1666年創立の学生数4万人規模の総合大学です。スウェーデン国内で2番目に歴史のある大学であり、数々のノーベル賞受賞者を輩出した実績をもちます。ストックホルム大学、ヨーテボリ大学、ウプサラ大学などと並びスウェーデンで最も評判の高い名門校のひとつです。

慶應義塾大学とは2005年10月に包括的交流協定を締結しています。特に理工学系や医学系の分野が強く、医学分野ではこれまでも慶應義塾大学大学院医学研究科が毎年Keio-Lund Summer Schoolを開催するなど活発な交流・連携を行っています。

4. 慶應義塾大学と海外の大学とのダブルディグリープログラム等について（参考）

慶應義塾大学では、国際社会を先導する真のリーダーの育成のため、現在、以下のダブルディグリープログラム等を海外の協定校と実施しています。詳細はWebサイトをご覧ください。

http://www.ogi.keio.ac.jp/link_to_intl_initiatives/double_degree_programs.html

文学研究科

マルティン・ルター・ハレ・ヴィテンベルク大学（ドイツ）

経済学研究科

パリ政治学院（フランス）

理工学研究科

エコールサントラルグループ（フランス）

経営管理研究科

ESSEC Business School（フランス）

WHU Otto Beisheim School of Management（ドイツ）

政策・メディア研究科

延世大学（韓国）

復旦大学（中国）

インドネシア・リンケージ・プログラム

本資料は文部科学記者会、各紙社会部、国際部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室 中島・藤戸

Tel : 03-5427-1541 Fax : 03-5441-7640

E-Mail : m-koho@adst.keio.ac.jp URL : <http://www.keio.ac.jp>